

令和 8 年第 1 回定例会一般質問

令和 8 年 2 月 24 日・25 日

(12 枚のうち1枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	森田 幸一議員	<p>1 本市の眼科医院医療体制について</p> <p>2 独り暮らし高齢者の実態とその対策について</p>	<p>(1) 本市には、これまで眼科医院が 2 医院あったが、そのうち 1 医院が閉院し、現在は 1 医院のみとなっている。現在の、本市における眼科医院医療体制について、市はどのような現状認識を持っているのか伺う。</p> <p>(2) 眼科医院の閉院に伴い、市民から寄せられている要望や相談について、どのように把握しているのか伺う。</p> <p>(3) 眼科医院の新規開設や医師確保に向けて、これまで市が行ってきた対応、または検討した経過について伺う。</p> <p>(4) 現在の眼科医院医療体制を踏まえ、今後、大学病院や関係医療機関、医師会等への働きかけ、あるいは情報提供や支援策などを含め、眼科医院医療体制の充実に向けた取組を検討する考えについて伺う。</p> <p>(5) 今回の、眼科医院閉院を一つの契機として、本市の医療体制のあり方について、市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 独り暮らし高齢者の実態について ア 本市における独り暮らし高齢者の人数及び、高齢者人口に占める割合はどの程度か。そのうち、75 歳以上、また 80 歳以上の独り暮らし高齢者は、それぞれ何人か伺う。 イ 今後、独り暮らし高齢者はどのように推移していくと見込んでいるのか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和8年第1回定例会一般質問

令和8年2月24日・25日

(12枚のうち2枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	森田 幸一議員		<p>(2) 生活実態と課題について</p> <p>ア 独り暮らし高齢者を取り巻く課題について、市はどのように認識しているのか伺う。</p> <p>イ 孤立や孤独死、認知症の早期発見の遅れ、急病時災害時の対応について、特に重要と考えている課題はなにか伺う。</p> <p>ウ 支援が必要でありながら支援につながっていない、いわゆる潜在的な要支援高齢者について、市はどのように把握しているのか伺う。</p> <p>(3) 現在の見守り・支援体制の現状について</p> <p>ア 民生委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会等による見守り体制の現状について伺う。</p> <p>イ 配食サービス、緊急通報装置設置事業などの利用状況と、その効果についてどのように評価しているのか伺う。</p> <p>ウ 現在の取組を進める上での課題や限界について、市はどのように認識しているのか伺う。</p> <p>(4) 今後の対策について</p> <p>ア 独り暮らし高齢者対策を市政にどのように位置付けるのか伺う。</p> <p>イ I C Tの活用、民間事業者や地域団体と連携した新たな見守りモデルを、本市独自のモデル事業として実施する考えはないのか伺う。</p>		

令和8年第1回定例会一般質問

令和8年2月24日・25日

(12枚のうち3枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	有郷 豊喜議員	1 伊佐市農作業標準賃金について	<p>(1) 現在の伊佐市の標準料金は令和7年度に改訂されたものだが、昨今の資材・燃料高騰・修理整備費・最低賃金を反映できているのか。</p> <p>(2) トラクター・田植機・コンバイン等の算定基準になる機械の規格は現場、現状に合ったものになっているのか。</p> <p>(3) コスト計算の根拠を明確にし、受託農家が持続可能な適正料金への改定を検討すべきではないか。</p>	農業委員会 会長	

令和8年第1回定例会一般質問

令和8年2月24日・25日

(12枚のうち4枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	岩元 努議員	1 伊佐市将来ビジョンについて	(1) 人口減少が加速する中で、市長は伊佐市の将来像をどのように描いているのか。また、そのビジョンを市民にどのように示していく考えか。	市長	
		2 官民連携の推進方針について	(1) 地域活力の維持・創出に向けて、市として官民連携をどのような戦略として位置付けているのか。 (2) 曾木の滝を伊佐市の中核資源として位置付けた場合、株式会社やさしいまちとの連携をどのような役割分担・責任体制で構築していく考えか。 (3) 曾木の滝周辺のグランドデザイン構想（道の駅、花公園、グランピング等）を含めた将来的なまちづくりについて、市長自らが先頭に立ち推進する意志はあるのか。 (4) 株式会社やさしいまちが新規事業として検討されている野菜スープ構想について、市と事業者間での情報共有の状況と、本事業に対する市の期待、優先度、可能性の認識を伺う。	市長	
		3 農業政策と生産者育成について	(1) 無農薬野菜の安定供給を課題とした場合、生産に必要な技術力の向上や人材育成を、今後の農業政策の中でどのように位置付けていく考えか。	市長	

令和8年第1回定例会一般質問

令和8年2月24日・25日

(12枚のうち5枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	岩元 努議員	4 文化会館周辺の照明設備設置について	<p>(2) 出口が明確な事業に対して、意欲ある生産者を育てる仕組みを構築する考えは。</p> <p>(3) モデル生産者の具体化、研修費・技術指導の予算化について検討できないか見解を伺う。</p> <p>(1) 文化会館周辺の夜間照度の測定は実施しているのか。</p> <p>(2) 万が一事故が発生した場合、管理責任はどのように考えるのか認識を伺う。</p> <p>(3) 暫定措置として、主要動線のLED照明の設置について検討できないか。</p>	教育長	

令和8年第1回定例会一般質問

令和8年2月24日・25日

(12枚のうち6枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	星野 元興議員	1 令和8年度予算における世代別施策のバランスについて	<p>(1) 令和8年度予算における世代別施策のバランスについて</p> <p>ア 高齢者世代（65歳以上の市民）、子育て世代（0歳から18歳までの子どもを扶養している市民）、現役世代（高齢者、子育て世代以外の市民）それぞれに対する主な施策とそれに対する考えを示せ。</p> <p>イ 各世代の施策に対する予算配分の割合傾向を示せ。また、配分は公平性を保ったものとなっているか。</p> <p>ウ 特定の世代に偏らない施策展開のために重視している点があれば示せ。</p> <p>(2) 若者世代（40歳以下の者）、将来世代（15歳から35歳の者）への支援の位置付けについて</p> <p>ア 若者支援について、定住促進、雇用対策など様々な取組がなされているが、現状の課題をどう認識し施策に反映されたか伺う。</p> <p>イ 将来世代への投資という観点から、どのような施策展開が考えられているか。</p> <p>(3) 中長期的な施策立案について</p> <p>中長期的な人口構造の変化を見据えた施策の方向性について、市の見解を伺う。</p>	市長	

令和8年第1回定例会一般質問

令和8年2月24日・25日

(12枚のうち7枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	星野 元興議員	2 第2次伊佐市教育振興基本計画（前期計画）より教育課題について	<p>基本計画作成より1年を経た現状について</p> <p>(1) 不登校児童生徒への支援体制について ア 本市における不登校児童生徒数の令和6年、7年の推移とその要因についてどう考えているか。 イ 早期発見・早期支援のための「チーム学校」の主な活動実績を示せ。</p> <p>(2) 学力向上とICT活用について ア GIGAスクール構想の下で整備されたICT機器が、授業改善や学力向上にどの程度効果を上げていると認識しているか。 イ 教職員のICT活用能力向上のための研修体制は十分と言えるのか。</p> <p>(3) 児童生徒の体力・健康づくりについて ア 本市の児童生徒の体力・運動習慣の現状をどのように把握しているか。体力合計点の向上はみられたか。 イ 運動機会の二極化が問題視されているが、どのように二極化を解消していく考えか。</p> <p>(4) 学校・家庭・地域の連携について ア コミュニティ・スクールについて、本市はどのような成果と課題を認識しているか。 イ 地域の歴史・文化・人材を活かした「伊佐ならではの教育」をどのように考えるか。</p>	市長 教育長	

令和8年第1回定例会一般質問

令和8年2月24日・25日

(12枚のうち8枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	武本 進一議員	1 祖父母手帳（祖父母向け子育て支援冊子）の導入について	<p>(1) 本市における祖父母世代の育児参加の現状について、市としてどのように認識しているのか伺う。</p> <p>(2) 本市の子育て支援施策における祖父母世代の位置付けについて。</p> <p>(3) 導入によって期待される効果について伺う。</p> <p>(4) 本市における祖父母手帳導入の可能性について。</p> <p>(5) 祖父母手帳について市長の見解を伺う。</p>	市長	

令和8年第1回定例会一般質問

令和8年2月24日・25日

(12枚のうち9枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	小田原 宏議員	<p>1 学校給食無償化について</p> <p>2 学校給食事業の一部民間委託について</p>	<p>(1) そもそも国が行う給食無償化とはどのようなものか。</p> <p>(2) 国が行う給食無償化は市の令和8年度予算にどのように反映されるのか。また市の支援は無いのか。</p> <p>(3) 今後の伊佐市の学校給食について、市の見解を伺う。</p> <p>(1) 学校給食事業の一部民間委託について、現在までの経過を示せ。</p> <p>(2) 一部を民間委託することで、調理員の待遇向上は図れるのか。</p> <p>(3) 一部を民間委託することと、給食無償化との関連はあるのか。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>教育長</p>	

令和8年第1回定例会一般質問

令和8年2月24日・25日

(12枚のうち10枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	畑中 香子議員	1 新庁舎事業費について	<p>(1) 新庁舎建設基本計画に示された総事業費内訳の中でまだ判明していない項目は。</p> <p>(2) 令和3年までの1.2億円、開発造成費の1.6億円、継続費の64.3億円、外構費の4.7億円、移転費等の4.4億円を合わせると76億2,000万円である。「80億を超える庁舎建設費」は現実となったのではないか。</p> <p>(3) 合併推進債、公適債の合計は。利息と償還期間に変更はないか。</p> <p>(4) 菱刈庁舎の体制について</p>	市長	
		2 商品券発行事業について	<p>(1) 市民全員に対して1,000円で6,000円分の商品券が購入できるというものだが、多くの市民から、「現金で支給してほしかった」との声があがっている。他自治体でも現金給付の後商品券事業としているところがあるが、現金支給の考えはなかったのか。</p> <p>(2) プッシュ型で全市民に配布すれば事務費が少なく済んだのではないか。</p> <p>(3) 困窮している市民にとって3,000円を支出することはハードルが高い。「1,000円分だけにする、あきらめる」などの声があるが、一番弱い人の立場に立って支援を行うべきではなかったか。</p>	市長	

令和8年第1回定例会一般質問

令和8年2月24日・25日

(12枚のうち11枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	畑中 香子議員	<p>3 給食センターの一部業務民間委託について</p> <p>4 給食費の無償化について</p>	<p>(4) 事業費のうち市民負担が6,660万円、15%も負担することになる。プッシュ型とした場合の経費割合はいくらだったのか。</p> <p>(5) これまでの商品券発行事業の評価と今回の事業における購入率の予測について</p> <p>(1) 10月のプロポーザルで第1順位者として決定したハーベストネクト株式会社の実績について</p> <p>(2) 3年間債務負担行為で委託料3億6,700万円であるが、今後の見通しは。</p> <p>(3) 雇用の継続は担保されるのか。</p> <p>(1) 来年度予算において給食費の助成が拡大されているが、無償化の検討状況は。</p>	<p>教育長</p> <p>市長 教育長</p>	

令和8年第1回定例会一般質問

令和8年2月24日・25日

(12枚のうち12枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	庵下 信一議員	1 公共施設の維持管理に向けた財源確保について	(1) 伊佐市特定公有財産取得基金条例について (2) 公共施設の修繕や長寿命化、メンテナンス費用等に備えた資金の必要性について (3) 減価償却手法による費用の計画的な確保について (4) 伊佐市特定公有財産取得基金条例の見直しについて	市長	